

RFIDシステム導入トータルサポート

DNP社の技術とアクトワンヤマイチの運用実績を活かし、検討段階から導入、運用まで一貫してサポート。



こんな課題の解決に

検品作業の効率化を進めたいけど
一体何をすればいいの？

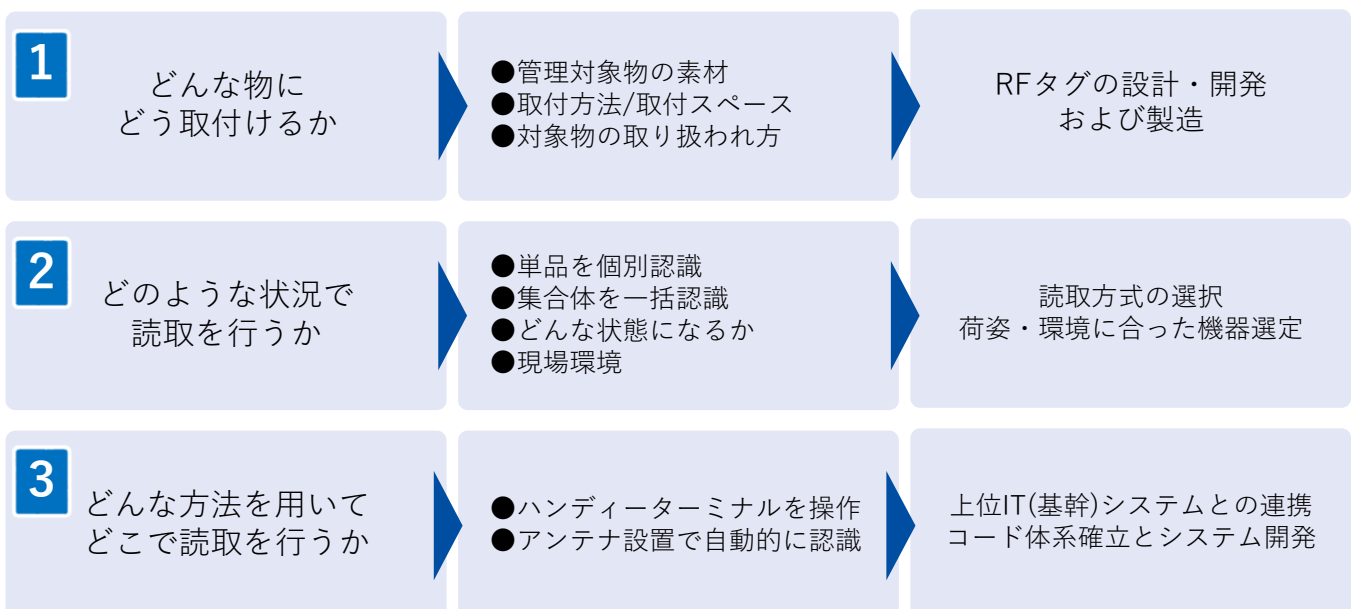
バーコード・QR管理はもう行っているけどもっと楽にできない？

RFIDの導入に興味や関心はあるけど導入がうまくいくか不安

システム導入に多くのベンダーが関わると手間が煩わしそう

特徴その1：貴社に最適なシステム構成を提案

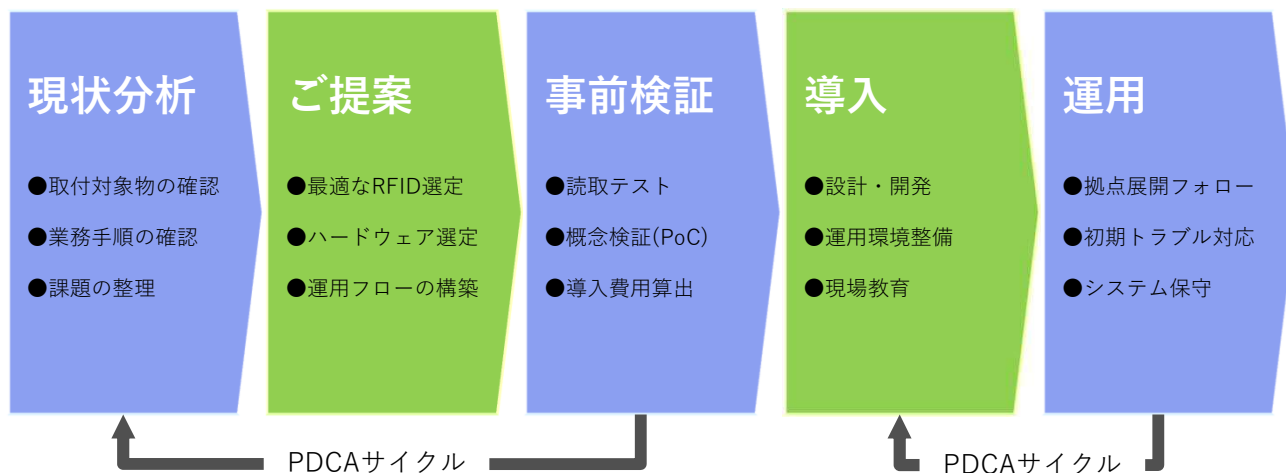
まずは詳細調査による現状分析から。
本当に使えるシステムをご提案いたします。



特徴その2：導入から運用サポートまで一貫したサービス

導入の流れは以下の5ステップ。

事前検証をしっかりと行い、お客さまのご要望にあった最適な環境を構築します。



導入事例：アクトワンヤマイチの場合

【導入の背景・経緯】

- 今後の国内の建設需要の増加を見据え、デジタルトランスフォーメーション（DX）による業務効率化の取り組みを開始。まず「業務の標準化」→「ペーパーレス化」→「RFIDを使った効率化」とステップを踏んだ計画を立案しました。
- 2019年にDNP社の支援のもとタブレットによる出入庫専用の業務アプリを開発し、「業務の標準化」「ペーパーレス化」を実現。
- 2021年に同じくDNP社によるRFID導入検証支援サービスを受け、RFIDを活用したさらなる業務効率化を目指しました。2022年より本番運用を開始しています。



【RFIDを活用した機材管理システム】

耐久性の高い金属対応RFタグを採用

- RFタグは一般的に、金属に取り付けると通信距離が短くなります。足場やはしごなどの軽仮設機材に適用できる金属対応RFタグとすることで、複数の一括読み取りが可能となりました。
- 建築現場や高圧洗浄工程などの過酷な環境における高い耐久性も備えています。



RFタグ取付位置(上)と機材保管状態(下)

システム導入による業務効率化

- 本システムは、UHF帯の金属対応RFタグとリーダライタ（読取/書込機）、管理システムで構成されます。
- 従来からの目視での機材確認や結果の手書き作業における時間短縮、ミス低減などに効果大。
- 業務フローを大幅に変えることなく、業務の効率化を実現しました。



PC管理画面(上)とタブレット画面(下)

